

(4) アレチウリ(荒地瓜)

その旺盛な繁茂により在来の生態系を破壊しており、環境省の駆除すべき「特定外来生物」に指定されている。長野県では、毎年6月の1ヶ月間を「アレチウリ駆除強化月間」とし、市町村等と連携し、駆除活動を実施。

(1)北米原産のウリ科の一年生植物。前年の種が5月頃に発芽し、花は8月下旬頃から咲き始め、10月まで続く。

(2)9月下旬に種子が熟し始め、冬は枯れる。長いツルを伸ばし(10m超も有)、葉・茎・実細かいトゲをつける。

【駆除方法】 除草剤を使う方法もあるが、原始的な“抜き取り”が最も効果的。1年に数回、種を付ける8月までに処理。



(5)クズ(有害植物)

アジア原産のマメ科のつる性の多年草。根は食品の葛粉や漢方薬が作られる。万葉の昔から秋の七草の一つ。海外では逆に外来生物として猛威を振るっているらしい。

【駆除方法】 刈り取る。[根で増えるため絶滅は困難]



(6)セイタカアワダチ草(要注意外来生物)

北米原産のキク科の多年草で、ススキなどの在来種と競合する。河原や空き地等に群生し、高さは1~2.5mになる。種子だけでなく地下茎でも繁殖する。鉄道草と呼ばれた。

【駆除方法】 * 抜いたり、焼いたりしても根絶は無理

- ①方法1…ラウンドアップの原液を直接に塗る。
- ②方法2…塩化アルミニウムの粉末を散布し土壌を酸性化(酸性が強くと、植物に必要な栄養が少ない土地はダメ)



芽の始め



駆除した特定外来生物(植物)の処分について(長野市HPより)

【処分方法】

1. 抜き取った後、種子が飛び散らないようにゴミ袋に入れて密閉し、枯れさせる。
2. 枯れた(生きていない)状態にした後、運搬し、可燃ごみとして処分する。

(自然環境部会)

長野市甚句・音頭交流会が開催されました

6月16日長野県立大学講堂にて、第20回長野市甚句・音頭交流会が開催されました。

長野市の伝統芸能を守り育てる活動は、各地区で活発に行われており、その活動は地域の伝統文化の振興を図るとともに、地域住民自らのまちづくり活動や世代間並びに地域間との良好なコミュニティの形成に重要な役割を担っています。

毎年長野市内のそれぞれの地域が生んだ郷土民謡・舞踊を一堂に会して発表する機会を設け、各地区との交流や地域の活性化に寄与するため、参加12団体が地区持ち回りで毎年開催しており、今年は幹事当番の三輪地区で開催しました。



若槻音頭・新町甚句披露模様

若槻からは「若槻音頭・新町甚句保存会」のメンバー12名による演舞を披露しました。また、各地区の音頭・甚句の成り立ちを想像しながら演舞を鑑賞することができました。

「若槻音頭・新町甚句」は若槻地区の市制100周年記念事業の一つとして、一般公募の作詞による「若槻音頭」を制定し、その後、昭和中期まで唄い踊られた「新町(あらまち)甚句」も復元しました。

令和7年度は若槻地区が幹事となります。柳原の東部文化ホールでの開催を予定しており、コミわか協力を得て準備を進めていきますのでよろしくお願いいたします。

(若槻音頭・新町甚句保存会)



◀松代藩「大門(おおもん)踊り」(長野市無形文化財)